

平成23年度科学・技術関係予算についての意見募集結果
(24136：世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI))

ご意見の概要	件数
このまま推進すべき	88件
改善・見直しをした上で推進すべき	13件
推進すべきではない	4件
その他	1件
合計	106件

【主なご意見】

世界トップの研究拠点を構築する、という目的が明確。往々にして文科省のプログラムは幅広くカバーしようとするので、教育、研究、社会貢献と広がる傾向にあるが、研究にフォーカスしており、ミッションが明確。現実に拠点形成が順調に進んでいる。

管理運営は旧来のボトムアップではなく、拠点長のトップダウンの意思決定でなされ、迅速な組織改革がなされてきつつある。新しい大学や研究所のモデルとして成功させ、波及させることが重要である。

現在の制度では、日本人PIの研究グループに対する研究予算の割り当ては極めて少なく、外部資金の取得が義務づけられていると聞く。これでは長期的な研究を必要とするきわめて困難なプロジェクトを実施することは難しい。

これらの拠点を核にした新しい分野の研究機関や機構が生まれるのも促進すべきである。

本プログラムの選考過程と実施態様が、我が国の競争力の向上させる目的に十分に沿っているかを検証した上で、一段の充実が必要。